

## 新潟県中越沖地震発生による柏崎刈羽原子力発電所の主なプラント状況

プラント情報（地震発生後全プラント停止）

\* 格納容器内は本日から点検を実施  
\* 放射性物質に係わる事象：網掛け

プラント名等	地震前	件名	備考
1号機	停止 (定検中)	・ <u>使用済燃料プールの水位低による運転上制限の逸脱および復帰。</u>	7月16日お知らせ済み
		・ 励磁電源用変圧器油漏れ（少量、継続中）基礎ベースからのズレあり。	漏油量は不明、漏えい少量継続中
		・ <b>主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。</b>	ズレの大きさは不明、放射能の漏えい調査中
		・ 原子炉建屋二重扉電源断のため常時開にする。	冷温停止中のため運転上制限の逸脱なし
		・ 非常用ディーゼル発電機(A)電気品室管理区域境界扉から非管理区域付近に水溜り。	漏えい量約4リットル、漏えい停止、放射能なし
		・ 消火系配管が損傷し、地下5階（最地下階）に約40cmの深さで水が溜まっていることを確認。（状況を確認中）	漏えい量約1,670m <sup>3</sup> 、漏えい停止、放射能なし
		・ 液体廃棄物処理系制御室制御盤電源喪失	プラント監視支障なし
		・ 所内変圧器1A・1Bと相分離母線接続部にズレ。基礎ボルトが折損。	ズレの大きさは不明（調査中）
		・ <b>原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。</b>	
2号機	起動中	・ <u>地震に伴い原子炉自動停止。</u>	7月16日お知らせ済み
		・ <u>使用済燃料プールの水位低による運転上制限の逸脱および復帰。</u>	7月16日お知らせ済み
		・ 主変圧器クーラ母管と本体間より油漏れ（継続中）基礎ボルト折損。	漏油量は不明、油抜き検討中
		・ <b>主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。</b>	ズレの大きさは不明、放射能の漏えい調査中
		・ 励磁電源用変圧器基礎部・電源ケーブル用ダクト横ズレ。	ズレの大きさは不明（調査中）
		・ 取水設備スクリーン洗浄ポンプ起動不可。	
		・ タービン建屋ブローアウトパネル外れ。	放射能の漏えいなし
		・ タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)の油タンク室内で油漏えい。	漏油量約800リットル、漏えい停止
		・ <b>原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。</b>	

プラント名等	地震前	件名	備考
3号機	運転中	・ <u>地震に伴い原子炉自動停止。</u>	7月16日お知らせ済み
		・ <u>使用済燃料プールの水位低による運転上制限の逸脱および復帰。</u>	7月16日お知らせ済み
		・ <u>原子炉建屋ブローアウトパネルの外れにより運転上制限の逸脱および復帰。</u>	7月16日お知らせ済み (その後、原子炉が冷温停止状態となったため、運転上制限の逸脱から復帰)
		・ タービン建屋ブローアウトパネルの外れ。	
		・ 7/16 10:15 所内変圧器 3B 火災発生確認 ~ 12:10 鎮火。	7月16日お知らせ済み
		・ <u>主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。</u>	ズレの大きさは不明、放射能の漏えい調査中
		・ K-3/4 低起動変圧器 (3SB) 放油管より油漏えい。	漏油量は不明、漏えい継続中、漏えい継続中のため低起動変圧器停止
		・ <u>原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。</u>	
4号機	運転中	・ <u>地震に伴い原子炉自動停止。</u>	7月16日お知らせ済み
		・ <u>主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。</u>	ズレの大きさは不明、放射能の漏えい調査中
		・ B系山側復水器水室連絡弁のつなぎ目 (エキスパンション) に亀裂があり海水が漏えい。	亀裂の長さ約 3.5m、漏えい量約 24m <sup>3</sup> 、漏えい継続中 (少量)
		・ <u>原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。</u>	
5号機	停止 (定検中)	・ <u>主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。</u>	約 4 cm 程度のズレ、放射能の漏えい調査中
		・ No. 4 ろ過水タンク水漏れ。	漏えい量約 900m <sup>3</sup> 、漏えい停止、放射能なし
		・ 取水設備スクリーン洗浄ポンプ起動不可	
		・ <u>原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。</u>	
6号機	停止 (定検中)	・ 低起動変圧器 (6SB) 油漏えい。	漏えい継続中 (少量) のため低起動変圧器停止
		・ <u>原子炉建屋内 3 階、中 3 階の非管理区域に漏えい水を確認、微量の放射能を確認。(3階約 0.6 リットル、約 2.8×10<sup>2</sup>ベクレル / 中3階約 0.9リットル、約 1.6×10<sup>4</sup>ベクレル)</u> 漏えい水が放水口経由で海へ放出。(放出量約 1.2m <sup>3</sup> 、放射能約 9×10 <sup>4</sup> ベクレル; 海水モニタに変化なし)・・・現在、放出無し	7月16日お知らせ済み 7月18日訂正(訂正前:放射能約 6×10 <sup>4</sup> ベクレル)お知らせ済み
		・ <u>原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。</u>	

プラント名等	地震前	件名	備考
7号機	運転中	・ <u>地震に伴い原子炉自動停止。</u>	<u>7月16日お知らせ済み</u>
		・ 取水路開梁護岸 目地開きひび発生。	ひびの大きさ最大約 8 cm
		・ 原子炉隔離時冷却系、残留熱除去系(A)(C)水密扉の水密性が低下。	
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	
		・ <u>主排気筒の定期測定(1回/週)においてヨウ素および粒子状放射性物質(クロム 51、コバルト 60)を検出。(検出された放射エネルギーは約 <math>3 \times 10^8</math> ベクレル)</u>	<u>7月17日お知らせ済み</u>
開閉所	-	・ 500KV新新潟2L停止。	
		・ 500KV新新潟2Lしゃ断器付近から微量のエアリーク。	ゴムバンドで応急処置終了
		・ 500KV南新潟2L黒相ブッシング油漏れ。(南新潟2L停止)	漏油量は不明、漏えい継続中
固体廃棄物貯蔵庫	-	・ 固体廃棄物貯蔵庫第二棟内のドラム缶数百本が転倒し、内数十本のドラム缶の蓋が開いていることを確認。	固体廃棄物貯蔵庫内の空気中放射性物質濃度を測定(4箇所)した結果、放射性物質は検出されなかった。転倒したドラム缶から水が漏えいしていることを確認。漏えい量は16リットル、放射能なし。点検継続中。
事務本館等	-	・ 事務本館常用電源断、緊急時対策室電源等は非常用電源より供給。	緊急時対策室電源のみ非常用電源より常用電源に復旧
		・ 事務本館・情報棟の構造部材(柱、はり)は問題なし。つなぎ目(エキスパンション)破損、ひび多数、ガラス破損多数、屋上の空調室外機破損、防水槽破損、ダクト落下、調理器具落下。	

プラント名等	地震前	件名	備考
構内 /その他	-	・ 荒浜側避雷鉄塔斜材一部破損。	主材については破損は認められない
		・ 重油タンク防油堤で目地の開き（貫通）。	
		・ 土捨て場一部崩落（北側斜面）等。	
		・ 飲料水タンク漏れ（タンク内空）。	
		・ 消火設備 合計5箇所配管損傷 漏水。 KK - 1 原子炉建屋 北東 KK - 1 タービン建屋 西側 KK - 1 軽油タンク近傍の消火栓付近 KK - 2 サービス建屋への供給ライン KK - 2 熱交換器建屋への供給ライン	
		・ 環境ミニコン（1号機サービス建屋）県テレメータ等伝送不能。	県テレメータ伝送のみ7月17日午後3時40分復旧
		・ 構内道路、寸断箇所あり。構内の海側、屋外で液状化。	現在通行可
		・ 進入路（踏線橋高町橋）段差50cm程度、通行不可（補修開始）。	現在通行可
		・ 南北放水口護岸沈下。	

<参考>

- ・ 当所における地震発生から現在までのけが人の発生状況 計7名